

会長 阿部信一
TEL 025-273-1572

事務局 井村健一
新潟市北区すみれ野2-10-12
TEL 025-259-7152

会報・編集委員会代表
浅野亘寛
長岡市金町2-2-17
TEL 0258-52-3998

新山協ニュース

新潟県山岳協会ホームページ <http://www.echigo.ne.jp/~nma/>

岩登り講習会報告

指導技術委員会

嶋原 哲也 (新潟山岳会)

岩登り講習会が平成23年6月19日(日)に新発田市内の倉の杉滝岩で開催された。参加者は35名で、10名ほどは前日から岩場に取り付き、夜は鍋を囲んでの懇親会となった。

19日朝8時より開会式を行い、阿部会長より挨拶で、昨今の場所での事故が発生している、正しい技術を身に付けて事故のないように、また、杉滝岩は支点や終了点の整備、東屋の維持などを有志が持ち寄りで行っており、参加者の皆さんからも有志の会へカンパの協力をお願いしたい、などの話があった。講師には本年も五十嵐博氏にお願いした。

開会式を終え、引き続き指導技術委員会の笹川徹委員(下越山岳会)によりロープの切断テストが行われた。用意された8・5mmのダブル用ロープを①テンションをかけない状態でナイフで切断②テ

ンションをかけた状態でナイフで切断③花崗岩(御影石)の柱状ブロック(10センチ角、長さ50センチ程度、一部研磨されているが岩角はほぼ直角で切り出した状態)の岩角をテンションのかかったロープに押し当てて横に引きどの程度で切断するか④ロープ同士を絡ませて引き合い、左右に摩擦させどの程度で切断するか、という4件の実験であった。岩角に当てたものは8〜9回擦っただけで切断、ロー



プ同士は15回ほど擦って切断した。私の予想以上に簡単に切れてしまった感じであった。ロープは岩角やロープ同士の摩擦には弱いことはよく知られているが、実際にこうして見てみると使い方を誤れば本当に危険なことが思い知らされた。おおいに今後の参考となった。笹川委員より、トップロープでの確保を直接スリングに通したらあつという間に切れてしまうので、必ずカラビナなど金物を介すように、トップロープは安心のようだがやり方を間違えると大変危険であると注意があった。

その後、それぞれのクラスに分かれ、初心者の上級者の指導の下、基本的なロープワーク、懸垂下降までの基本的な

講習から入った。中級者は五十嵐講師の指導で、終了点でローダウンに移るためのロープを付け替える方法などを練習し、中級ルートの登攀に入った。初心者の基本講習が終わったところで、中・上級者がリードで初心者も何本かの登攀を体験することができた。

昨年は雨天のため満足な講習会を行うことができなかったが、今年は終日晴天に恵まれ、充実した講習会となった。15時に閉会式を行い、無事に終了した。大変お疲れ様でした。

海外・国内旅行、主催・手配



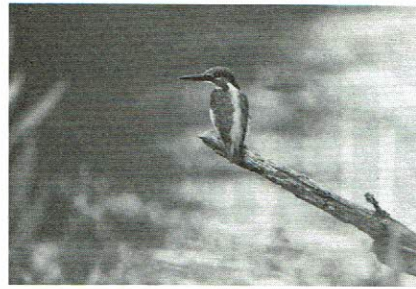
ユニオン航空サービス

国土交通大臣登録旅行業第593号・IATA代理店 (社) 日本旅行業協会会員
本社 新潟県長岡市幸町1丁目3番5号

<http://www.uks.co.jp>

- 長岡営業所 〒940-0664 長岡市幸町1丁目3番5号 ☎ (0258)33-7123
一 総旅行業取締役主任 森 純司
- 新潟営業所 〒950-0916 新潟市米山3丁目2番11号 ☎ (025)246-2266
一 総旅行業取締役主任 中島 豊

県内の自然保全と水辺は！



清流に生きるカワセミ

バスなどの外来生物が幅を利かせている。

そんな中で、これまで重視されずに壊されてきたものに、大きな価値があるということに気が付き始め失われた生態系や美しい動植物のすみかを取り戻そうとの声も高まってきた。米国や欧州では、開発行為によって自然を破壊する場

合、その周囲に同様な湿地や森林の再生を義務付ける「生物多様性オフセット」という制度が導入され、自然の再生がすすんでいるようだ。

日本の現状は「2003年に自然更生推進法が施行され、市民も参加して自然更生事業を進める体制が整った。だが、行われているのは、国などによる新しい公共事業という性格が強いものが多く、一般の人の理解は必ずしも充分ではないようだ。素朴な疑問で例えば県内にはどれくらいの種類の動植物がいるのか、主に新聞などで調べてみると、陸地に棲む哺乳類などセキツイ動物と、昆虫など一部の無セキツイ動物だけで約6000

種、コケなどを除く植物は約3000種が生きながらえていられる。しかし絶滅してしまつた種もあつて、飼育や栽培で辛うじて生きている「野生絶滅」をふくめると判明しているだけで12種が絶滅しているらしい。

ニホンオオカミ、ニホンカワウソ、トキなども野生絶滅に分類される。絶滅の理由は食餌の関係や重なる悪環境など複雑な関係と水環境の変化で絶滅したと思われる種もある。新潟市の銚潟や福島潟で生息していたベッコウトンボは干拓事業や農薬使用、生活排水の流入による水質汚濁

によって絶滅したと思われる、魚類のゼニタナゴは、平野部の湖沼や水草が繁茂する川などの生息環境が失われたことが絶滅の原因と思われる。

現状のまま自然破壊が推移すると、絶滅する恐れがある種は数百種もいると思われる。人との関わりの大切さもあり、減反政策などで湧水や水路を維持する活動も少なくなり、森林も植林以外は人の手が入らない現状も「放置される事で多様な環境が徐々に単純化され、生物多様性の減少が感じられる」などの見方もある。

会報・編集 浅野

計 12 種

新潟県・希少動植物の絶滅種

種類	種名
哺乳類	ニホンオオカミ
	ニホンカワウソ◎
淡水魚類	ゼニタナゴ◎
昆虫類	ベッコウトンボ◎
	ケマダラカマキリ
	コクロナガオサムシ佐渡亜種
	アサカミキリ
	ウラジロミドリシジミ
植物	ムジナモ◎
(野生絶滅)	
鳥類	トキ
植物	デンジソウ◎
	ツルスゲ◎

◎は特に湿地の減少や水環境の悪化が影響したと思われる種。

賛助会員入会

ご入金のお礼

次の皆様から、ご入会、ご入金を頂きましたので、ご報告させていただきます。
*5月30日~6月21日現在の
ご入会、ご入金状況です。

- 藤井 信(長岡ハイキングクラブ) / 浅野亘寛(朝路の会) / 渡邊正之(長岡ハイキングクラブ)

(敬称略、順不同)
新潟県山岳協会

- 会長 阿部信一
- 理事長 遠藤俊一
- 総務委員長 宮崎幸司

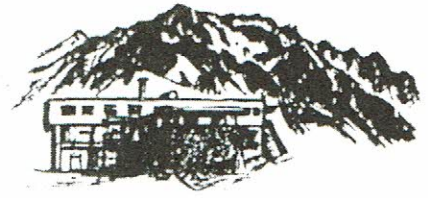
登山・ハイキング・クライミング
テレマーク&山スキー



パーマーク
長岡市西宮内2-97(長岡市役所裏通り)
TEL0258(37)1200-FAX0258(33)1164
●営業時間/AM10:30-PM8:00水曜定休

<http://www.parrmark.co.jp>

お知らせ



◎国立登山研修所

日本山岳協会による
講習会・研修会

独立行政法人日本スポーツ振興センター、国立登山研修所、(社)日本山岳協会主催の中・高年安全登山指導者講習会が開催されます。

◆平成23年度安全登山指導者講習会「東部地区」

期日 平成23年9月16日(金)～18日(日)

会場 秋田県由利本庄市鳥海山麓 国民宿舎(鳥海荘)

後援 文部科学省、秋田県

由利本庄市教育委員会

主管 秋田県山岳連盟

申込 7月29日(金)
講義内容 中高年登山者の現状と課題/リーダーの責任と条件/登山の基礎知識・地図/GPSの使い方/実技研修(歩行技術・読図・気象)/研究協議

◆平成23年度中高年安全登山普及指導者講習会中央研修会

◎南アルプス

マイカーの規制!

南アルプス北岳などへの登山口である、山梨県南アルプス広河原に通じる県営林道南アルプス線(芦安～広河原間)及び県道南アルプス公園線(奈良田～広河原間)では、南アルプスの貴重な自然環境の保全と通行の安全確保のために、マイカー規制を次のとおり実施している。

マイカー利用の方は、芦安(650台)、奈良田(100台)の無料駐車場に駐車し、路線バスまたはタクシーを利用することになる。

また南アルプスの豊かな自然環境を維持していくために実施する、このマイカー規制

開催 11月11日(金)～13日(日)
申込 9月28日(水)～10月20日(木)

※案内は加盟団体に送付してありますが、参加を検討される方には要項をおくります。

遭難対策委員会委員長
井 春文
025(782)2437

では、利用者の皆様に、マイカー規制実施経費の一部をご負担いただきます。ご理解とご協力をお願いいたします。

http://www.pref.yamanashi.jp/kankou-sgn/509151611945.html

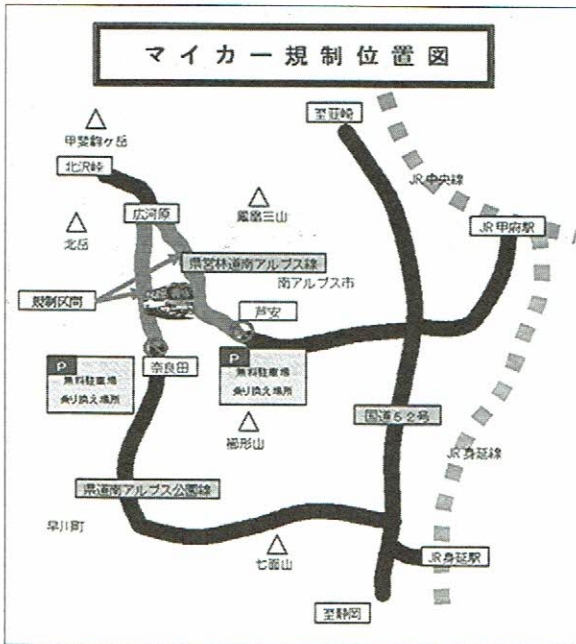
ホームページ

055(223)1576

協賛会事務局(山梨県観光資源課)

(1人片道100円)
○規制機関 平成23年6月25日(土)～平成23年11月9日(水)
(この期間以外は冬期閉鎖のため全面通行止めとなります。)
○問い合わせ先
マイカー規制全般については南アルプス山岳交通適正化協議会事務局

マイカー規制位置図



◎「湯の平登山道」

新発田市は7月上旬に予定していた同市滝谷の加治川治水ダムから湯の平温泉に通じる林道と(8・2キロ)と登山道(3・4キロ)を7月23日に開通すると発表した。連日の降雨によって林道の先にある登山道で3ヶ所の崩落があったための延期となった。安全祈願祭は7月23日午前7時から、加治川治水ダム駐車場で行う。

○問い合わせ
新発田市観光振興課
0254(22)3101

登山・スキー・テニスの専門店

ヒトと地球のインターフェイス



新潟市中央区堀之内南1丁目16-52 TEL(025)241-5134 代
営業時間/平日10:30am~8:00pm 休日10:30am~7:00pm

加盟山岳団体 各位

新潟県山岳協会 会長 阿部 信一
 理事長 遠藤 俊一
 総務委員長 宮崎 幸司

—— 賛助会員の募集について ——

平素は、本会の事業運営に格別なるご支援・ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、本会におきましては、加盟団体からの分担金で、下記の各種事業を実施しております。しかしながら、その実施に当たっては、十分な財源が確保されている状況ではございません。そのため、場合によっては、担当各位のボランティアに依存しているのが実情でございます。

つきましては、今年度も、本会の目的や事業に賛同する方々を、個人・団体を問わず、賛助会員として募集いたします。何卒、この趣旨にご賛同の上、ご入会いただきたくお願い申し上げます。例年、多くの個人の方々からご賛同いただいておりますが、加盟山岳団体様からのご賛同についても、ご高配のほどお願い申し上げます。

なお、ご賛同・ご入会いただける場合は、別紙の「払込取扱票」にて下記の賛助会費をご納入の上、「賛助会員入会申込書」をご送付ください。

記

1. 新潟県山岳協会事業

- (1) 国民体育大会山岳部門に関する事項
- (2) 新潟県体育協会登山部門に関する事項
- (3) 日本山岳協会に関する事項
- (4) 登山施設の改善促進及び技術指導に関する事項
- (5) 遭難対策に関する事項

(6) 自然保護活動に関する事項

(7) 加盟団体が主管する事業に対する相互協力に関する事項

(8) その他本会の目的達成に必要な事項

2. 賛助会費 年額 10,000円

以上

新潟県山岳協会監修



好評発売中 『新潟100名山』

平成17年に『新 にいがた花の山旅』、19年『新潟日帰りファミリー登山』が発刊後も好評を得ているが、ひきつづき待望の『新潟100名山』が刊行の運びとなった。新潟県山岳協会の会員達が地元の利を生かして撮り、執筆した見ごたえのある『新潟100名山』となっている。

A 5版 2,600円+税 411頁 発売中

☆著者購読割引あり

気象庁ホームページで閲覧できる主な情報

警報・注意報：災害の起こるおそれがあるとき、現象や程度、時間帯など（必要なときに随時発表）

気象情報：警報・注意報に先立つ注意喚起や警報・注意報の補足・解説など（必要なときに随時発表）

天気予報：明後日までの天気、風、降水確率、最高・最低気温などの予報（毎日5、11、17時に発表）

週間天気予報：明日から7日間の天気、降水確率、最高・最低気温などの予報（毎日11、17時に発表）

アメダス：降水量、風、気温、積雪深、日照時間（毎時更新）

天気図：高気圧や低気圧、前線の位置など（実況は3時間毎、24・48時間後の予想は12時間毎に発表）

噴火警報：火山噴火により重大な災害の起こるおそれがあるとき、現象や程度、警戒の必要な地域など（必要なときに随時発表）
<http://www.jma.go.jp>